

## 地元代表挨拶



増田 恭子 氏（静岡県商店街振興組合連合会理事長）

皆さん、こんにちは。今日は大変すばらしい天候に恵まれました。本日は関東のほうからも多くの方にお出でいただいたということで、私たち静岡県の代表としましてとても喜んでおります。ひと言ご挨拶を申し上げます。ただいまご紹介いただきました増田恭子です。本日、令和元年度の「商店街フォーラム IN 熱海」が開かれますこと、またご多用の中、県内外多くの商店街関係、行政、支援機関などの方々にご参加いただき、おかげ様でこのように盛大に開催することができますことを心から御礼申し上げます。

静岡県における最近の話題といたしましては、9月20日に始まり11月20日に終わりました「ラグビーワールドカップ2019 日本大会」で、本県も開催都市のひとつとして、袋井市の小笠山総合運動公園エコパスタジアムで日本代表戦を含む4試合が行われました。累計観客者数は17.5万人と大盛況でございました。また各試合に合わせ、最寄りのJR愛野駅前ではステージイベント、飲食、ラグビー体験コーナーなど、おもてなしエリアが大変好評をいただき、合計約11万人の方々にご来場いただいたという嬉しいニュースがございます。

一方、県内における商業や私たち商店街の現状につきましては、平成30年度実施の県の調査によりますと、商店街組織の数は347で、商店街振興組合など法人格をもつ商店街には、地域内にある全店舗の約67%が加入している状況でございます。ご多分に漏れず空き店舗が増え、後継者の不足、さらには人口が減ってきていることに伴い、お店に来ていただく方が減ってきたという厳しい環境は相変わらず続いておりますが、私たちもそれに負けずにがんばろうという前向きな気持ちを持ち続けております。このような状況のもとですが、静岡県商店街振興組合連合会と同様に活動範囲が県内全域にまたがって

おります静岡県商店会連盟連合会などと密接な連携を図りながら、今日急速に進行が進んでいますキャッシュレス決済の先進地域への視察研修、また国や県の施策や動向などを分かりやすく解説する会報紙を発行するなど、会員の商店街に対する支援を一層充実しているところでございます。本日の「商店街フォーラム IN 熱海」開催につきましても、県外の多くの方にご来場いただける絶好の機会になることに加え、例年以上に県内関係者も参加しやすいというこのフォーラムを通じて、これからの商店街活動の参考にしてもらえれば、という思いがあります。ご存知のとおりこのフォーラムは、地域コミュニティの担い手として知恵を出し合い、住民の利便性を高め、賑わいあふれる商店街の形成を図っている先進的な取組み事例からノウハウなどを学ぶことを目的に毎年開催されております。今回のテーマは「地域への思いが人を動かす～まちを変える新たな風～」と伺っております。本日、先進事例の背景や仕組みなどが共有され、各地域へお戻りいただいた後、主体的に取り組む契機になればよろしいのではないかと思います。



余分なことではございますが、ここに来るまで暖かな熱海の良さを存分に味わってまいりました。おかげで緊張して暑いというよりも、20分ほど歩いて、銀座通りからここまでのかなりの坂を登ってきて暖かくなりました(笑)。今日銀座通りはたまたまお休みだったので、少し人通りが少なかったと思いますが、「熱海の良さを歩いて感じなくてはいけないな」という思いにかられ、来宮神社にも行ってまいりました。私は富士宮市の者ですので神社についてはいろいろご縁がありますが、これからも伝統と文化を守りつつ、コミュニティの担い手となり地域の皆さんと共に歩いていける商店街になりたいと私自身も強く思っております。また最後にご参加された皆様方の益々の発展とご健勝をご祈念しまして挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひ致します。